

製品名: Lin28B (12W5) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe13317**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,FC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:20-1:50,IP 1:20-1:50
分子量	27kDa

抗原情報

遺伝子名	LIN28B
別名	CSDD2; FLJ16517; LIN28B; Protein lin-28 homolog B;
遺伝子 ID	389421.0
SwissProt ID	Q6ZLN17
免疫原	ヒト Lin28B の組み換えタンパク質

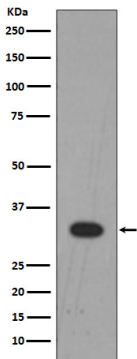
背景

最近、原発性ヒト腫瘍およびヒト癌細胞株における LIN28A および LIN28B の上方制御が、let-7 miRNA の下方制御と相関していることが示されました。LIN28 遺伝子は、始原生殖細胞の発達および生殖細胞の悪性腫瘍に関与することが報告されています。さらに、LIN28B の対立遺伝子変異は、ヒトの思春期の時期制御に関連しています。let-7、およびおそらく miR107、miR-143、miR-200c を含むマイクロ RNA (miRNA) 生合成の抑制因子です。pri-let-7g および pri-let-7a-1 を含む一次 let-7 転写産物 (pri-let-7) に結合し、マイクロプロセッサ複合体から核小体へ隔離することで、成熟 miRNA へのプロセッシングを阻害します (PubMed:22118463)。pri-miR21 には作用しない (PubMed:22118463)。let-7 の発現抑制は正常な発生に必要であり、let-7 を介した分化を阻害することで胚性幹細胞の多能性状態の維持に寄与する。過剰発現すると、pre-let-7 転写産物に ZCCHC11/TUT4 ウリジルトランスフェラーゼをリクルートし、末端のウリジル化と分解を引き起こす (PubMed:19703396)。LIN28B を介した let-7 miRNA 成熟阻害は ZCCHC11 に依存しないと考えられるため、この活性は in vivo では重要ではない可能性がある (PubMed:22118463)。標的 pre-miRNA との相互作用は、pre-miRNA 末端ループの 5'-GGAG-3'モチーフを介して起こる。MYC 誘導性の let-7 抑制を媒介する (類似性による)。アイソフォーム 1 は過剰発現すると、乳癌細胞株 MCF-7 の増殖を刺激します。アイソフォーム 2 は細胞増殖に影響を与えません。

研究分野

-

画像データ



K562 細胞溶解物中の Lin28B 発現のウェスタン プロット解析。